

【令和5年度採材現地検討会】

令和5年9月26日に下大板屋国有林内で、林業事業体等63名(署職員含む)が参加し採材現地検討会を開催しました。

東北森林管理局青森事務所を講師に迎え、素材の販売状況の説明、一般材、パルプ材の採材にあたっての注意点等の指導の後、準備したカラマツ、ミズナラ、センノキ供試木を実際に検討しました。



今回の供試木のミズナラは、写真のとおり胸高直径60cm、根本からの空洞により低質材との見方の中、ミズナラ一般材の高い引合いと単価から、一般材を見据えた検討に参加者皆さん苦慮していました。

各班からの検討結果を発表の後、苦慮したミズナラ供試木は、根元から2.2mで玉切り(造材 写真①)、空洞が続いているためさらに2.2mで切りましたが(写真②)、腐れが続いているため一般材の採材はできませんでした。

最後に岩手県森林組合連合会、株式会社ウツティかわい様から針葉樹材、広葉樹材の販売状況や製品動き等の情報提供をいただき、これから伐採時期を迎える広葉樹の採材にあたって、各事業体等単価を見据えた採材することを確認し検討会を終了しました。

今回の検討会の開催にあたり、ご協力いただいた岩泉地区国有林材生産協同組合及び忙しい中出席いただきました参加者の皆様ありがとうございました。

